
東海第二発電所
防潮堤（鋼製防護壁）の設計変更に係る
説明スケジュール

2024年4月17日
日本原子力発電株式会社

1. 審査会合（2024年3月26日）における指摘事項

指摘事項	内 容
不具合調査	● 不具合事象の調査結果の全容を示すこと ● 調査結果を踏まえた既工認との相違点を網羅的に整理して説明すること。 ➢ 例示① 地山側のコンクリート未充填範囲の特定根拠（特に非剛結継手部の区間） ➢ 例示② 崩落土砂が完全に取り除かれた根拠（確実な岩着） ➢ 例示③ 北基礎の鉄筋の高止まりの要因
既工認に立ち返った 論点整理	● 既工認に立ち返り，設計等の各方面から課題を整理し，不具合対応方法を示すこと ➢ 例示① 既工認の論点に関する課題 （既工認の論点が，不具合対策を施した構造に対しても適用する根拠） ➢ 例示② 不具合対策に関する課題 （不具合対策を施した構造が，原設計と同等の耐力を有する判断根拠） ➢ 例示③ 維持管理に関する課題 （経年劣化への影響）
不確かさの設計反映	● 不確かさを考慮して設計すること（局部的に応力集中が起こる可能性も否定できない）。
評価の方法	● 既工認と同様に，設計条件及び評価項目のすべてに対して説明する等検討すること。 ● 既工認の健全な構造での応答値を使って耐震耐津波評価を行っている計算書が不適切。

2. 審査会合における指摘事項への対応（説明内容）

指摘事項を踏まえた対応（説明内容）の概要を以下に示す。

指摘事項	対応方針
不具合調査	a. 不具合事象（コンクリート未充填，鉄筋の変形等，北基礎の鉄筋の高止まり，崩落土砂の堆積等） b. 全容を示す調査項目，調査方法，調査範囲を整理（耐震・耐津波評価における設計条件に着目し，網羅的に抽出） c. 前回審査会合以降，追加調査等を実施 ➤ 地山側の音響探査＋コア測定を全区画実施 等 ➤ 施工記録により確実な岩着がなされていること等を追加説明 ➤ 調査結果から想定される不確かさについては設計に反映 d. 調査結果をもとに，既工認との設計の相違点，評価条件の相違点を網羅的に整理
既工認に立ち返った 論点整理	e. 既工認の論点のリスト化により不具合事象に関連するすべての論点を整理し，不具合対策を施した構造に対する適用性を確認 f. 変更内容について不具合調査結果から十分なエビデンスが得られているか確認（原設計と同等の耐力を有すると判断するための根拠の整理） g. コンクリート及び鉄筋の健全性に関する考え方の整理（鉄筋の腐食対策の考え方，不具合箇所の維持管理対応に関する考え方の整理）
不確かさの設計反映	h. 不確かさがぬぐい切れない調査結果がある場合は，これを考慮した計算書の作成
評価の方法	i. 不具合事象を踏まえた既工認と同様の計算書の作成

3. 説明スケジュール

